

進んでいます いわきの復興

市は、津波の災害を受けた久之浜、薄磯、豊間、小浜、岩間の5地区において、震災復興土地区画整理事業を実施しており、平成30年3月までの宅地引き渡し完了を目指し、宅地造成や道路・水路等の公共施設、ライフラインなどの整備を進めています。今月号では、小浜、岩間地区の進ちょく状況を写真でお知らせします。

小浜地区



幹線道路工事や宅地造成工事が進み、住宅の再建を開始〔平成29年1月撮影〕

岩間地区



幹線道路工事や宅地造成工事を実施中〔平成29年1月撮影〕

こんにちは市長室から ②



『WE LOVE いわき』

いわき市長 清水 敏 男

平成29年が幕を開けました。

東日本大震災から今年の3月で6年、さらには、私も市長就任から3年が過ぎ、一期4年の最終年を迎えました。

就任当時、原発事故により、市内一円に漂っていた暗い雰囲気（あふしき）を払拭（はら）すべく「明るく元気ないわき市を目指します」と、あいさつの場において幾度となく発言してきましたが、その後、福島県初の首脳級の国際会議「太平洋・島サミット」や日本初となる「U-15野

球ワールドカップ」の開催、映画「超高速！参勤交代」の大ヒットに続く、続編「超高速！参勤交代リターンズ」の公開、サッカーJリーグ入りを目指す「いわきFC」の活躍など、明るい話題が数多くありました。

また、新年に入り、次回の「太平洋・島サミット」が来年5月、本市で再度開催されることが政府決定されました。さらには、東京オリンピックのホストタウンの相手国として登録されている、サモア独立国との間で、ラグビーチームの事前合宿受け入れなどに関する覚書の締結を行うなど、取り組みを進めています。

震災以降、国内外から多くの支援をいただき、復興を推し進めています。本市の元気な姿を発信し続けることが、感謝の気持ちを伝えることにつながると考えております。

市民のひろば ~地域が輝く！明るく 元気な いわき~

レポート ②34

今月号は、防災活動などを通して、安心・安全なまちづくりに取り組んでいる「下綴女性消防クラブ」隊長の遠藤和子さんに、活動の内容や地域とのつながりなどについてインタビューした内容をお伝えします。



遠藤和子さん（下綴女性消防クラブ隊長）

Q どのような防災活動を行っているか教えてください。
 主な活動としては、高齢者の戸別訪問があります。毎年、火災予防週間に訪問し、火の元や避難経路の確認などを行っています。この活動は、高齢者の見守りも兼ねていますので、地域の子どもたちや団体等と一緒に作った「ひまわりブローチ」や絵手紙を持っていくなど、高齢者との交流を図っています。昨年は新たに、有事の際に備えた血液型の調査や、会話を通して認知症の疑いがあるかどうかについても確認しました。
 また、子どもたちに対する防火啓発として、オリジナルの防災演劇の披露や、火事の注意事項などを歌詞にした「防災かぞえ歌」の普及などを行っています。



他の女性消防クラブなどと連携し、さまざまな地区で防災演劇を披露

他にも、手話ができる隊員がいますので、聴覚障がい者向けの救急救命講習会を開催しています。
 Q 活動を行う際に心掛けていることは何ですか。
 横のつながり、人との連携を大事にしています。地域の皆さんや、消防団、社会福祉協議会といった団体などと、連携・協力することで、私たちだけでは困難なことも、実現することができ、活動の幅が広がっています。安心・安全なまちづくりに向け、これからも地域とのつながりを大切にしていきます。
 また、隊員が達成感を得ることができるように、一つ一つの活動を継続して行っています。やりがいや楽しさを感じること、隊員のやる気につながればと思っています。



震災時は炊き出しや救援物資の配布などを行い、地域を支えた隊員

Q 今後、取り組みたい活動について教えてください。
 有事の際に、住民の皆さんの安全確認が速やかにできるように、情報伝達の訓練を行いたいと思います。また、街灯の不足や危険な箇所を調べるため、夜間の避難訓練も考えています。災害が発生する時間帯によって、取るべき行動が変わってきますので、さまざまな場面を想定した訓練を行いたいと思います。
 お互いの命を守るためにも、一人一人が自主防災の意識を高め、地域全体で防災に取り組むことが重要です。多くの方に取り組みんでもらえるよう、誰でもできる防災方法の普及など、私たちに出来ることを継続して行っていきます。

常磐地区 (ホテルハイアonz・ラピータ)



大人の自覚と責任を胸に真剣な表情で式典に臨む新成人



二十歳の決意を述べる代表者

齋藤奈々さん

成人までの時間はあっという間でした。両親や家族、これまで関わってきた方たちへの「ありがとう」という気持ちでいっぱいです。これからは、さまざまなことに挑戦していきたいです。



友人たちとの記念撮影

久之浜・大久地区 (久之浜・大久ふれあい館)



旧友との久しぶりの再会に笑顔があふれる新成人たち



人気の献立を再現した給食会

鈴木大騎さん

成人を迎え、これまでお世話になった方々に感謝の気持ちを伝えたいです。また、社会人として一つの行動に責任を持ち、自覚のある行動をしていきたいと思っています。



机を囲み仲間と食べる給食は格別

おめでとう新成人

平成二十九年成人式を一月八日に、市内十三会場で開催しました。二十歳を迎えた三千六百五十人が、晴れて大人の仲間入りをしました。



2852人が出席

二十歳の門出を祝う平成二十九年成人式を、一月八日に市内十三会場で開催しました。

今年の成人式の対象者は、平成八年四月二日から平成九年四月一日までに生まれた方々で、男性が千八百七十一人、女性が千七百七十九人です。

当日は、二千八百五十二人が出席し、色鮮やかな振り袖や羽織はかま、真新しいスーツを着た新成人で、会場は華やかな雰囲気になっていました。

多彩な記念行事を開催

本市の成人式は、自らたくましく生きようとする新成人の皆さんを祝福し、地域の特色を生かした思い出に残る親しみやすいものとするため、市内十三地区ご

20年前のできごと

平成8 (1996) 年

- 7月 海の日が施行
- 9月 いわき市民コミュニティ放送 (FMいわき) が開局
- 10月 市制施行30周年。市の鳥カモメ、市のイメージソングを制定
- 12月 広島県原爆ドームと厳島神社が世界文化遺産に登録

平成9 (1997) 年

- 3月 秋田新幹線が開業
- 4月 消費税が5パーセントに引き上げ



市制施行30周年記念式典

とに開催しています。式典では、市長などが新成人の前途を祝して、激励の言葉と記念品を贈りました。

式典の後には、地区ごとに実行委員会による記念行事が行われ、小・中学校時代の恩師を招待しての懇親会や模擬授業、人気の献立を再現した給食会、二十歳の抱負発表など、多彩な催しが行われました。

出席した新成人の皆さんは、恩師や旧友との再会を



華やかな雰囲気にもまれた式典会場

果たし、思い出話や記念撮影を楽しんでいました。